

当国コーヒー豆のネットオークションの開催

当国外務省において、コーヒー豆のネットオークションのライブ中継が行われました。

本ネットオークションで競売されたコーヒー豆は「2018年エルサルバドル・カップ・オブ・エクセレンス国際審査会」で入賞した38品種であり、本オークションには18か国、約200名のコーヒーバイヤーが参加しました。

本オークションにおいて、サンタアナ県「La Cumbre 農園」のゲイシャ種の豆が第1位を獲得し、1ポンド：55.10ドルの値段で落札されました。第2位はサンタアナ県「El Manzano 農園」のゲイシャ種の豆で、1ポンド：37.30ドル、第3位はチャラテナンゴ県「サンタ・ロサ農園」のパカマラ種で、1ポンド：31.80ドルで落札されました。

本オークションに参加したバイヤーを国別の割合で見ると、日本：26%、韓国：22%、台湾：11%、米国：8%、オーストラリア：5%、ノルウェー：5%、サウジアラビア：4%、中国：3%、英国：3%、その他、となっています。

なお、日本企業が1, 2, 3位のコーヒー豆を落札しました。詳細については、エルサルバドル・コーヒー審議会に関連記事をご参照下さい。

<http://www.csc.gob.sv/consejo-realiza-subasta-electronica-cafes-taza-de-excelencia-2018/>